

- 展示内容：富士通では、AIに関する幅広い技術の研究開発を進めてきました。さらに、製造、小売、公共など様々な分野において実社会への適用を進めています。本展示では以下の4テーマについてデモを交えて説明します。

## 作業分析コンポーネント

製造現場では、個人ごとの作業分析が難しい課題がありました。本展示では、工場内のカメラ映像から作業者一人ひとりの作業内容を分析して、クラウドアプリで作業時間を可視化するデモをご紹介します。これにより、導入コストを抑えつつムリ・ムダ・ムラを排除して製造現場の最適化を実現します。



作業分析



可視化

## 購買行動分析コンポーネント

人々の価値観の多様化に伴い、パーソナライズされた消費体験に関心が集まっています。本展示では、行動認識AIによる店内行動分析技術を紹介。「棚前に立ち寄る」「商品を見る」「手を伸ばす」など特徴的な購買行動をAIが認識し、商品棚の注目領域や施策効果を可視化、従来は困難であった大量の行動データに基づく店舗づくりを実現します。



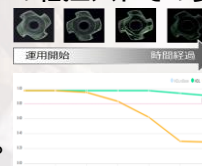
行動



注目領域の可視化

## 不良品検出コンポーネント

製造分野での画像検査AIの運用では、現場環境が変化することにより、AIモデルの精度低下が懸念されます。本展示では、AIの低コストでの安定運用に向けて、AIモデルの精度をリアルタイムで監視、環境変化によってAIモデルが劣化した際には、モデル修復・再学習用データを生成する技術:HDLについて、製品検査業務を想定したデモをご紹介します。



## 不審行動検知コンポーネント

安心・安全な社会の実現のため、カメラ映像を常時監視してリアルタイムで不審者を検知する行動認識AIに注目が集まっています。本展示では、公共エリアや施設内のカメラ映像から、住居への不法侵入や荷物の持ち去り、車上荒らしなどの犯罪行為を自動的に検出し、アラートを出すシステムのデモをご紹介します。



不審行動を検知



アラート通知